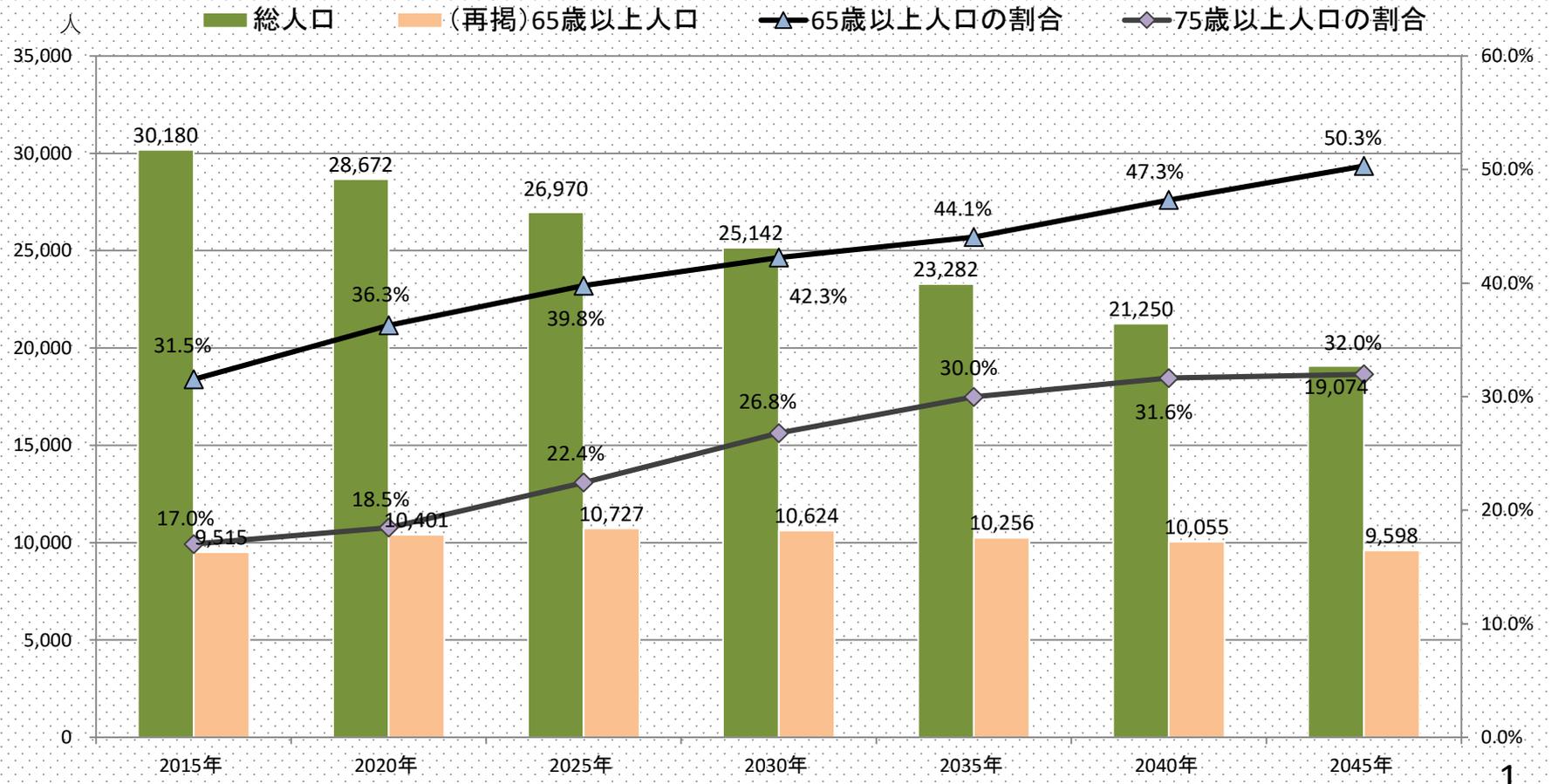


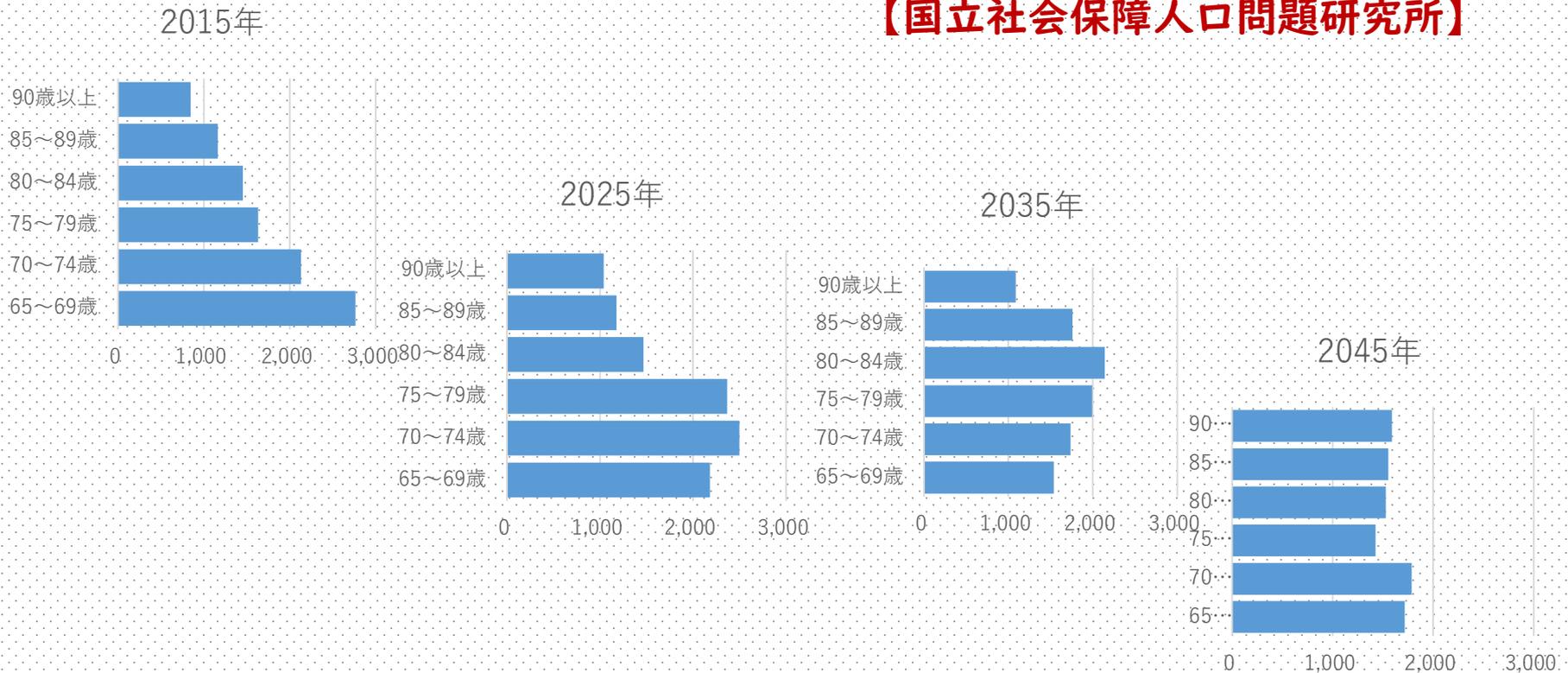
角田市の将来人口推計【国立社会保障人口問題研究所】

◆ 令和3年9月末現在住民基本台帳人口 27,822人
◆ うち65歳以上人口10,170人 高齢化率36.6%



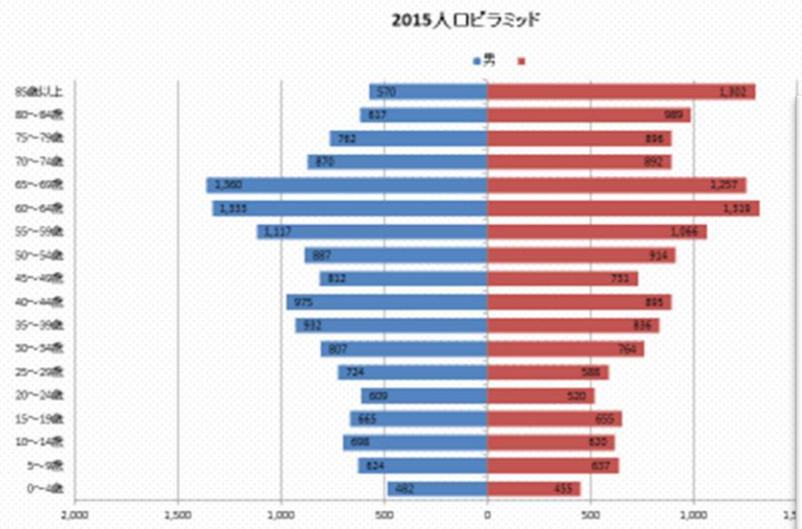
角田市の将来人口推計：65歳以上

【国立社会保障人口問題研究所】

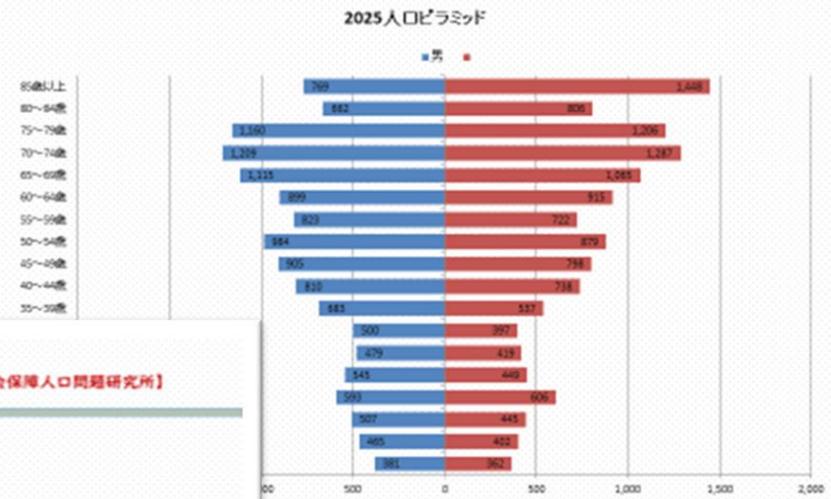


- ◆高齢者全体の人口は1万人前後で推移しますが、介護や支援を必要とする年代が大幅に増加します
- ◆併せて、一人暮らしの超高齢者も増加していくと予想されます

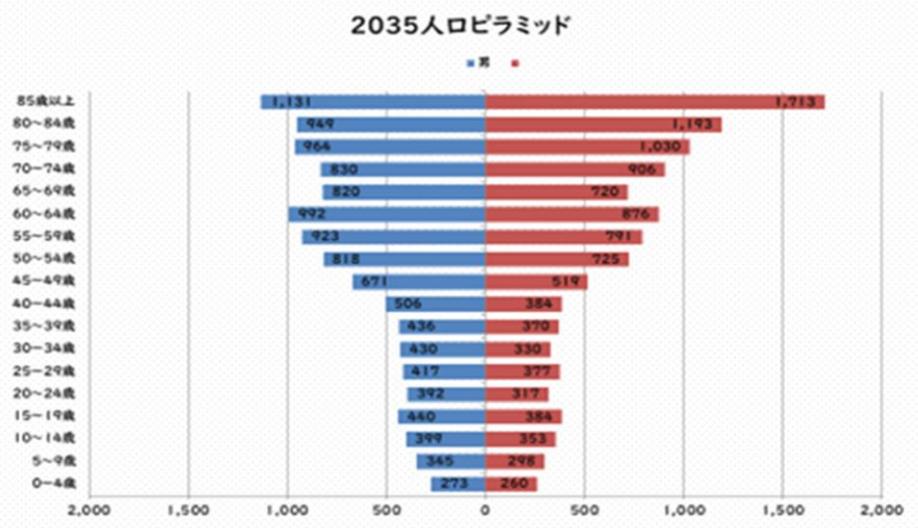
角田市の将来人口推計 2015年 【国立社会保障人口問題研究所】



角田市の将来人口推計 2025年 【国立社会保障人口問題研究所】

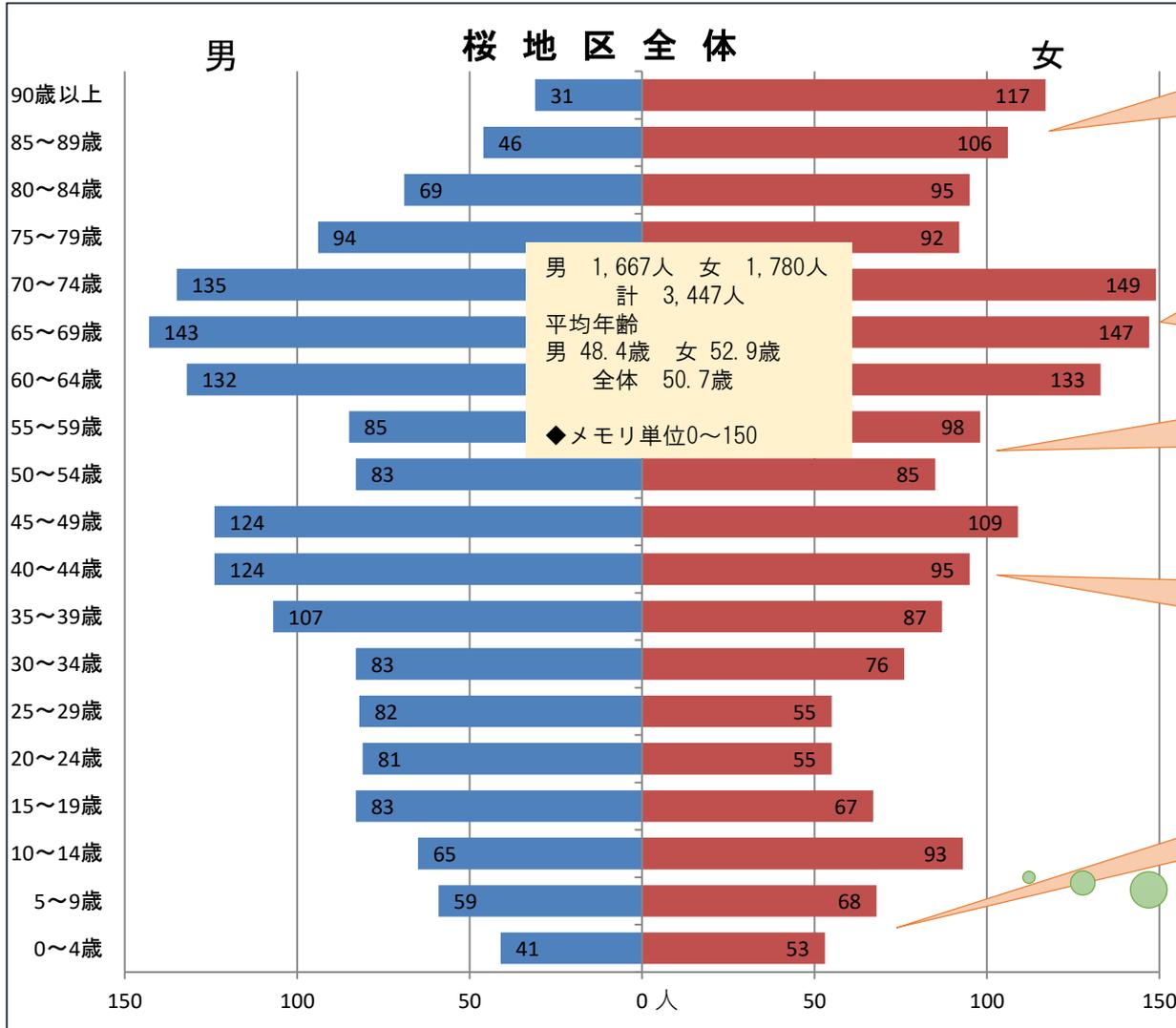


角田市の将来人口推計 2035年 【国立社会保障人口問題研究所】



資料5 - 2

◆桜地区の人口構造(令和2年4月末日現在)



施設利用者の影響による偏在

「団塊の世代」
 今後はこの世代が高齢化

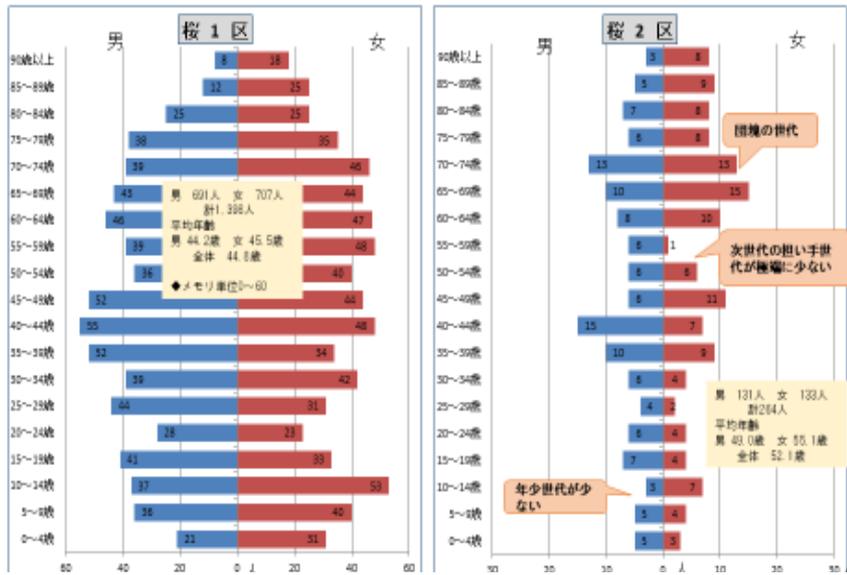
次世代を担う世代が
 極端に少ない

団塊ジュニアの世代

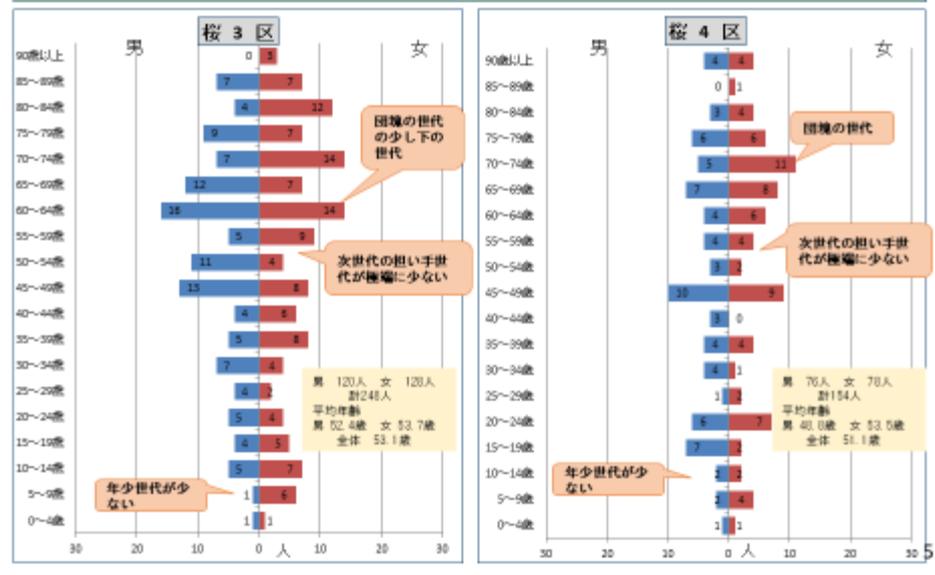
少子化の進行が顕著

地域の高齢化対策
 次世代を担う人材育成
 が必要

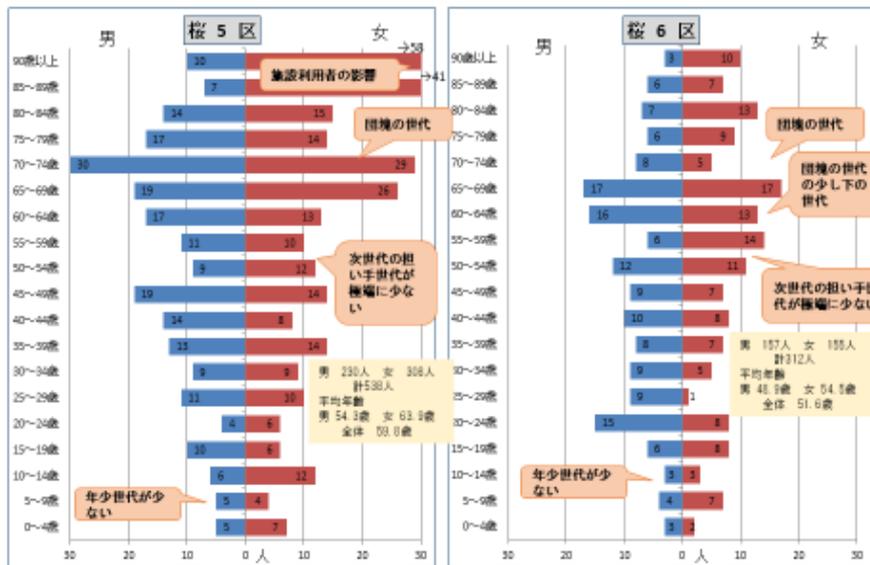
◆桜地区の人口構造(令和2年4月末日現在) 桜1区・桜2区



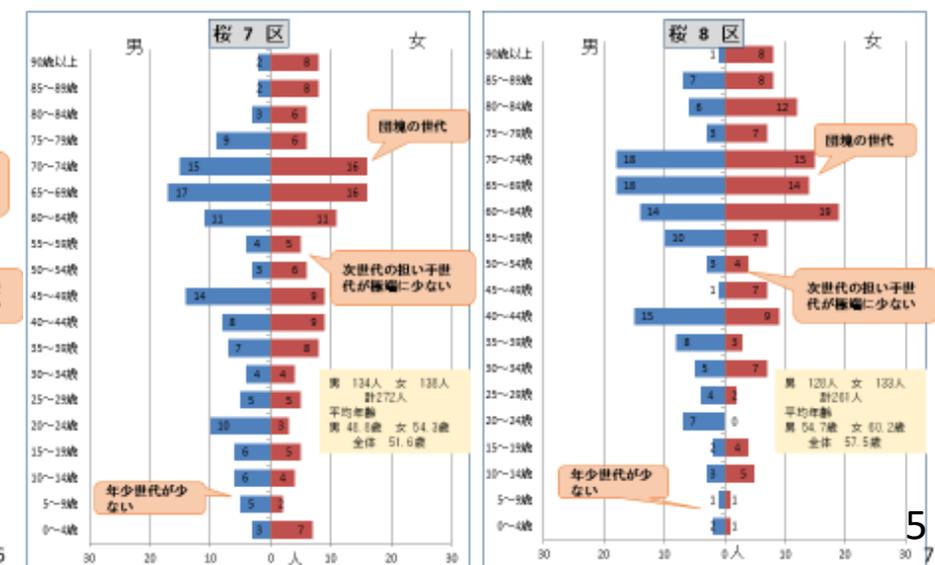
◆桜地区の人口構造(令和2年4月末日現在) 桜3区・桜4区



◆桜地区の人口構造(令和2年4月末日現在) 桜5区・桜6区

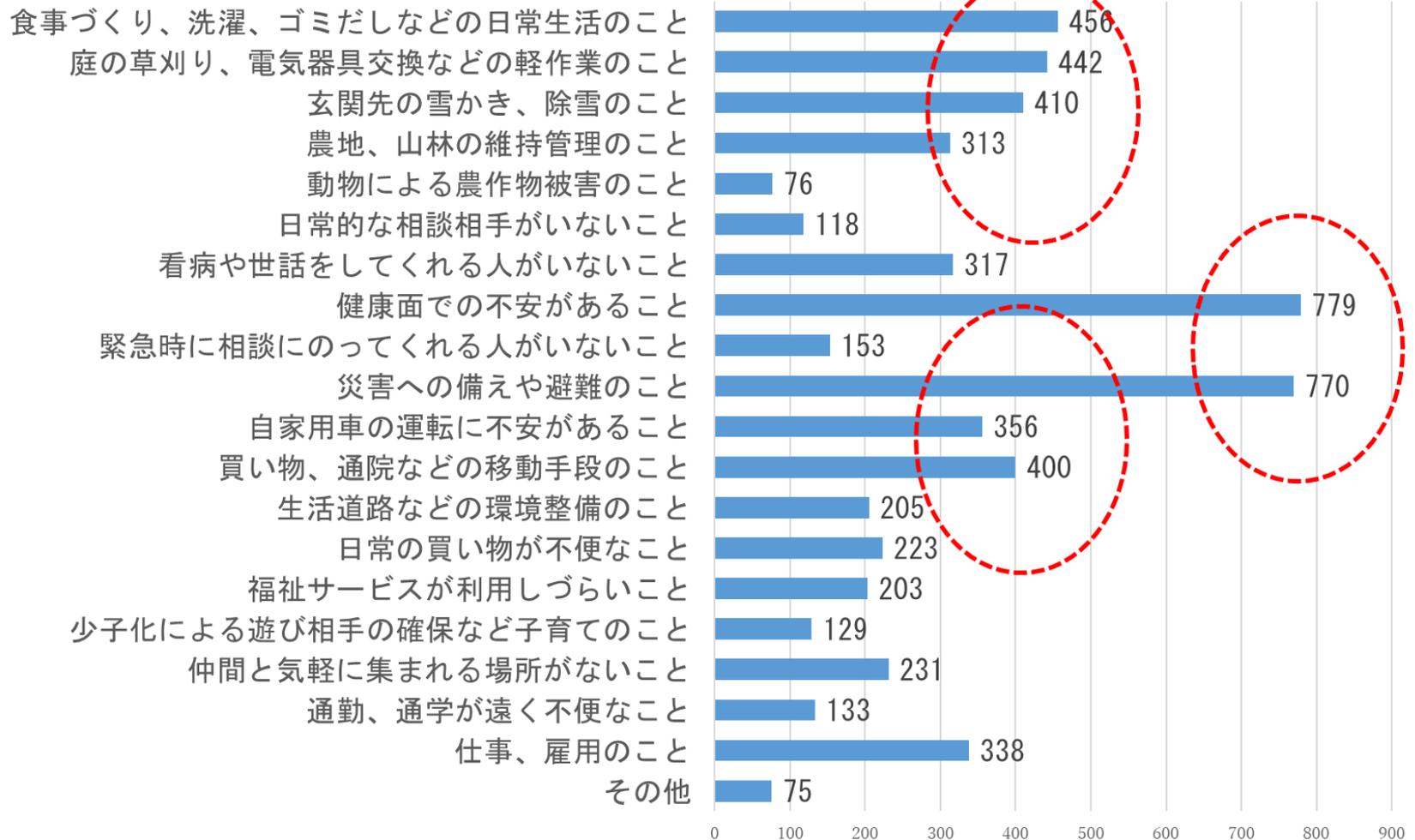


◆桜地区の人口構造(令和2年4月末日現在) 桜7区・桜8区



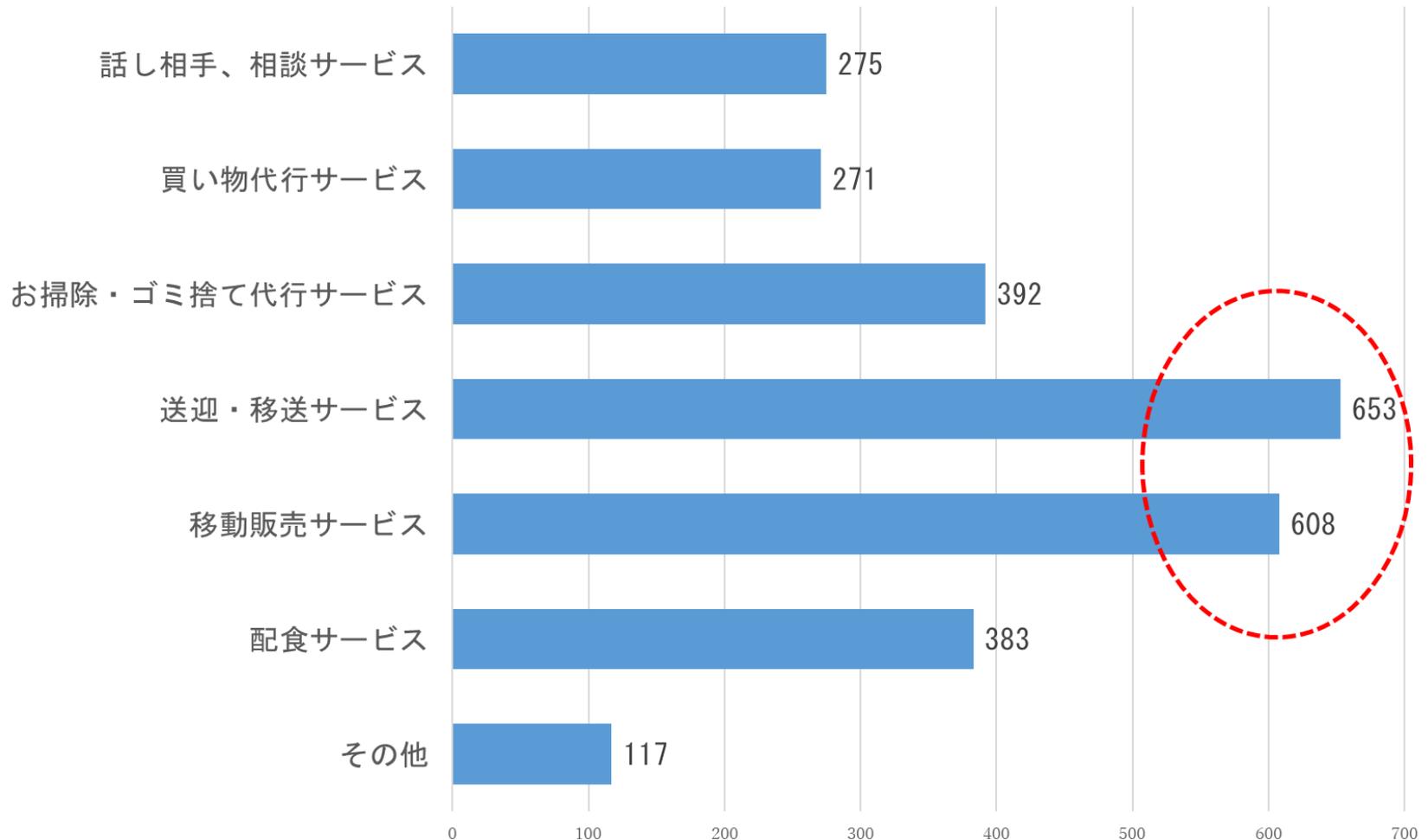
桜地区住民アンケート結果から『見える化』できた地域課題①

4 地域での日常生活における不安や心配（将来）



桜地区住民アンケート結果から『見える化』できた地域課題②

5 地域にどのようなサービスがあるとよいか



持続可能な地域づくりのために

R2.6.9市長提言資料

持続可能な地域づくりの実現に向けた 桜地区の地域づくりの在り方

- 人口減少、少子高齢化に伴う地域の担い手不足
- 災害に対する自主防災の強化

- ◆地域の「つながり」を再構築
- ◆地域の多様な「主体」を活用できる仕組みづくり
- ◆支えあいの仕組みの持続可能化

□□**住民自治活動を支援する新しい「拠点」を創造**□□

桜 行政区長会

1

◆令和2年6月9日 桜地区行政区長会からの提言

◆令和3年6月 桜地区住民アンケート実施

◆令和3年10月 桜地区住民アンケート集計

◆令和3年11月 桜地区住民アンケート集計結果
全戸配布

◎住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために

- ◇日常生活圏域ごとに課題が異なる
- ◇地域の方が、現在・将来、どのようなことを課題・心配と考えているか
18歳以上の方が全員対象にアンケートで『見える化』
- ◇積極的な【日常生活支援体制整備】が必要
- ◇行政、民間事業者、地域が役割を明確にして、支え合う仕組みづくり
《生活支援コーディネート》が必要